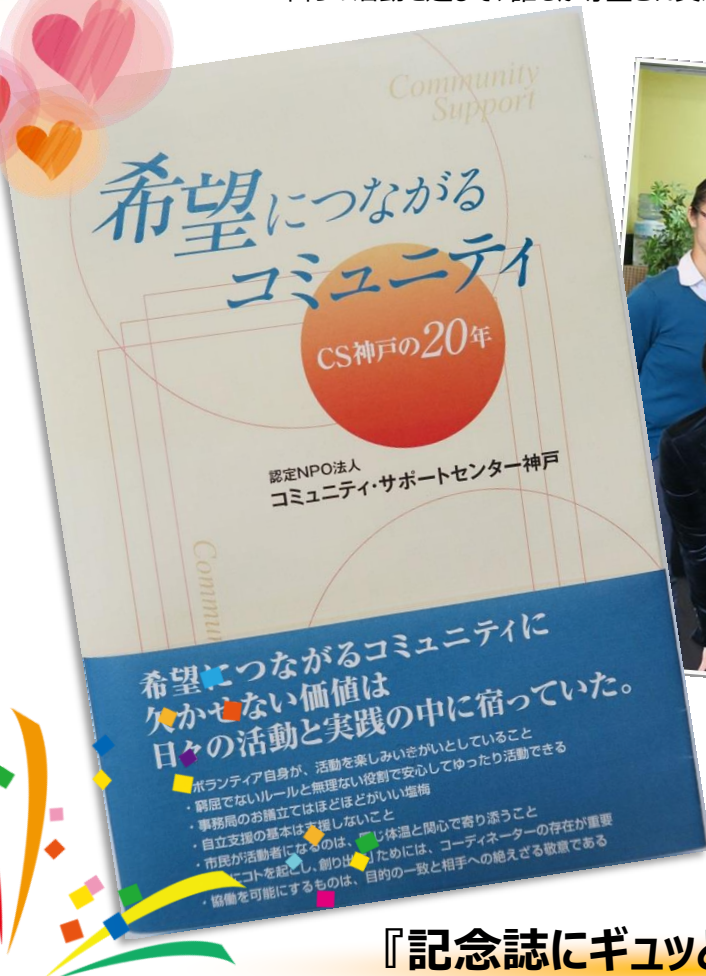


市民フロンティア

CS 神戸は、**自立と共生**を目指し、より良い社会のために主体的に活動する人々をサポートするとともに、自らの活動を通じて、誰もが尊重され支えあう地域社会の実現をめざします。

2016 年 11 月 25 日発行 **通巻 80 号**



これから力をあわせて前へ！（CS 本部事務所前にて）

『記念誌にギュッと詰めた 20 年』

理事長 中村順子

歳月の効用を今更のように感じ入っています。この 20 年を振り返った時、成功したことやうれしかったことが膨張して脳裏を占め、失敗や苦しかったことまでが「乗り切ったではないか」という前向きな思考に変換している事実です。1 日 1 年の活動の蓄積も、振り返って時空のフィルターを通した時、すべてが希望へとつながっていく不思議さです。

阪神淡路大震災の救援活動から、地域密着型の中間支援組織として未知の世界を開拓してきた 20 年は、日本の NPO の歴史とも重なりました。その中では、これまでパートナーとして支援してきた 300 にのぼる団体や自らの 160 以上の事業の中から、25 事業をケーススタディとして取り上げ、蓄積してきた価値を抽出、さらに NPO の組織運営にも考察を加え、「希望につながるコミュニティ」と題した 20 年誌にギュッと纏めることができました。NPO がその教訓やノウハウを広く自他へ開示することは公益に資する大事な役割とも思っています。自立と共生の理念に基づくコミュニティ形成の一助にお役立てくだされば幸いです。

20 年誌の概要は以下の通りですが、手に取っていただければ、過去への感謝と未来への希望を感じ取っていただけるものと思います。皆様と誌面上でお会いできることを心より願っています。

CS 神戸 20 年誌を発刊します

～ タイトル『希望につながるコミュニティ』～

『希望につながるコミュニティ』神戸新聞総合出版センター（2016 年 11 月末発刊予定）

■ 定価 1,000 円（税別）／ A5 版 約 160 ページ

■ 本書概要

はじめに

第 1 章 … Case Studies（25 ケース）

第 1 期（1996～99 年度）震災復興支援と中間支援試行期

第 2 期（2000～03 年度）行政・大学・企業等との新たな関係づくり

第 3 期（2004～07 年度）新たなしくみづくり（指定管理等）

第 4 期（2008～11 年度）新たな分野への挑戦（農と地方都市）

第 5 期（2012～16 年度）地域密着型事業の展開

第 2 章 … CS 神戸を支えた人が語る CS 神戸

第 3 章 … 希望につながるコミュニティをつくる
おわりに

※一般書店および CS 神戸事務局にて販売

2016 年度第 3 回理事会報告

2016 年度上期の活動および決算報告をしました



2016 年度第 3 回理事会が 11 月 8 日（火）16 時 00 分～18 時 00 分まで、CS 神戸事務所にて開催されました。理事長、副理事長、理事 3 名に加えて、陪席として事務局スタッフ 1 名、会計担当 1 名の計 8 名が出席しました。審議の結果、第 1 号議案（2016 年度上期事業報告および中間決算）、第 2 号議案（2016 年度下期事業計画および修正予算）が可決・承認されました。



地域の居場所支援事業

居場所サミット開催 & 居場所データ集を発刊しました！



CS 神戸ではここ数年、「地域の居場所づくり」のサポートに力を入れてきました。地域の居場所とは「多様な人々が集い、自分らしく居られ、さらに役割も見つけることができる場所」を指します。この度、サミットを開催するとともに、居場所データ集として情報をまとめましたので、以下ご報告です。

<第 1 回『居場所』サミット in 神戸>

去る 8 月 7 日、（公財）神戸いきいき勤労財団、生活協同組合コープこうべ、（公財）コープともしびボランティア振興財団、NPO 法人しやらく、認定 NPO 法人しみん基金・KOBÉ の協力を得て「第 1 回『居場所』サミット in 神戸」を開催、62 団体 222 名の参加がありました。第 1 部は居場所実践者の方 10 名によるパネルディスカッションで、住み開き型、施設間借り型、常設型など様々なパターンの居場所を紹介していただきました。第 2 部は区別の詳細な地図を見ながら、実際に活動している居場所のマッピングを行いました。

<わがまち居場所 BigMap データ集 vol.1>

サミットで行ったワークショップの結果をもとに、居場所情報を集約したのがデータ集です。神戸市内を中心にサミット参加者から得られた情報として、274 カ所を掲載しました。特徴としては、①各区の地図とリンクさせ視覚的に見やすくした、②民間の居場所だけでなく地域福祉センター等の居場所も合わせて掲載した、③「コツ & ベからず」を掲載し、運営のヒントを盛り込んだ、という点が挙げられます。

ご活用いただければ幸いです。

※<http://www.cskobe.com/ibasho/>からダウンロードできます。Google Map 連動版もあります。



<告知>

「第 3 期居場所コーディネーター養成講座」を開催します！

東部は 1 月 25 日から、西部は 2 月 6 日から開催します。座学、実践者の報告、実習、企画書づくりのワークショップ等、全 4 日で居場所について総括的に学べます。詳細は近日中に C S 神戸の HP でご案内します。



プロジェクト密着レポート！ vol.4



「信頼されるお助け隊をめざします」！ JR住吉駅前駐輪場

元気に活躍中の JR 住吉駅駐輪場スタッフの皆さん。平均年齢がなんと 73 歳！今回は「元気高齢者」の見本とも言えるスタッフの皆さんにインタビューしました。



駐輪場ではどんな業務をしていますか？

駐輪場として自転車と原付の駐輪チケット（一日券/定期券）の販売・管理はもちろんですが、**NPO 法人としての意義・意識**を持って業務しています。

① ワークシェアリング

高齢者と障がい者が共に働いています。また、スタッフの勤務はシフト制を導入して、仕事も時間も**シェアしています**。

② 駐輪場および周辺の管理

利用者の誰もが利用しやすいように、自転車や原付の整理、現場や周辺施設の清掃および景観美化、利用案内の掲示等もおこなっています。

③ ソーシャルインクルージョン（社会的包摂※）の取組み

高齢者（スタッフ）、障がい者（有償ボランティア）、学生（大学インターン生、トライやる・ウィークの中学生）といった、**社会を構成する多様な人々を受け入れています**。

④ 業務を地域活動の一環として考え、**スタッフが主体的に活動・提案**をしています。

※社会的包摂：誰もが社会から孤立したり排除されたりせず、社会の構成員として能力を発揮でき、互いを支え合おうという考え方。



作業所「もとやま園」の方々と落ち葉清掃



後からきた利用者さんが入れやすいよう、自転車を整備するスタッフ



70歳を越えて初めてパソコンを覚えたスタッフもいます

ここはちょっとしたスペースもあるし、電車が間近で見えるし、緑も多いし、子連れの方も多くいらっやいます。「**街中の居場所**」という感じです。皆さんに気持ちよく利用してもらえるよう、整理整頓、掃除をこまめにしています。また、通勤時間帯ではスピーディな対応を、そして普段から挨拶や声かけをすることで、**誰でも安心・安全に利用できる駐輪場**になるよう心がけています。（スタッフ歴 8 年：尾山）

「ありがとう」「助かりました」と利用者さんから喜ばれると、**やりがいを感じます**。中にはマナーを守らない方もいて、どうすれば良いのか悩みます。三宮や神戸駅前など他の駐輪場にも話を聞いてみましたが、残念ながらどこも同じようです。**辛抱強く、丁寧に対応**することで、理解してもらっています。（スタッフ歴 4 年：遠田）

これからの駐輪場に向けて（駐輪場リーダー 柳井俊郎）



駐輪場にはたくさんの地域の方々がいらっやいます。事務所は長年勤務のスタッフ、近所に住むスタッフもいて、利用者さんと顔なじみになり、声掛け・挨拶が絶えません。単なる施設運営管理というのではなく、まちづくりを担う役割を果たす駐輪場を目指して皆働いています。周辺で不安そうにうろろしている方に積極的に声を掛けたり、スーカ、盗難、落し物、雨宿り、道案内、なんでも子ども 110 番登録など。また、認知症の方にも**「神戸市認知症サポーター講座」**を受けたスタッフが相談にのります。地域の**「信頼されるお助け隊」**を目指します。

ダイジェストニュース

～ 動きのあるプロジェクトをピックアップしてご紹介！ ～

【市民活動支援部】

生きがいごとサポートセンター神戸東・・・生活支援・介護予防サポーター養成研修をはじめとした、社会貢献塾など CS 神戸の講座（研修）受講生 8 名が、有償ボランティアグループ「アテンドハッピー中央」を立ち上げました。グループホームなど介護事業施設で定期的に清掃活動や支援活動をおこなっています。

地域 CB 支援事業・・・10 月から始まった相生市での『相生市 CB 起業実践講座』。約 1 か月半という短い期間で事業計画の作成、実践、振り返りまでをおこないました。11 月 19 日の実践当日は受講生の皆さんの日頃のネットワークが一つになって、人が人を呼び、予想以上の賑わいとなりました。来春には実際に起業できるように引き続き応援していきます。

生活支援・介護予防サポーター養成研修・・・第 3 期は東部・西部ブロック合わせて 108 名の方が修了。今年度はさらに 1 月から追加研修の開催も決定し、これまでの抽選で外れた方々に参加していただけることになりました。

社会貢献塾－CB 実践講座・・・第 5 期は 20 名が受講し、地域活動への第一歩を踏み出しました。また、10 月からは CB 実践講座を開講し、立ち上げに向けた相談が続いています。

【地域活動事業部】

JR 住吉駅前駐輪場・・・今年は 10 月 19 日～11 月 30 日までの約 1 か月半、「クリーンアップ作戦」として近隣障がい者施設 5 団体から来ていただいた方と毎日清掃作業を行いました。今後は周辺の店舗や関係企業へも呼びかけて、共同清掃を予定しています。

東灘区民センター小ホール・・・10 月 30 日『どうぶつになっておどろろ！～サン＝サーンス曲「動物の謝肉祭」』小学・中学生向け、幼児向けワークショップを開催しました。参加者 21 名と大学生によって「踊る楽しさ」と「観る体験」ができました。パフォーマンスでは、同じ空間に立ち、動物を表現して自然に楽しむことができました。

生きがい活動ステーション・・・開所 2 周年を記念して、6 月に「つながる交流会」を開催しました。灘区にまつわるグループクイズや生き活を通じて活動マッチングした方々のリレートークで盛り上がりしました。

まちづくりスポット神戸・・・毎年恒例のふれあいまつりを 10 月 22 日・23 日で開催。2 日間でスタッフ、キッズボランティアを含めて約 5 千人が参加しました。



相生 1day チャレンジショップ当日の様子。身体測定、カフェ、針金細工など、バラバラな素材が場所をシェアしてアイディアが膨らみました。

会員・寄付

～ 応援いただき、ありがとうございます！ ～

【会費】

(2016 年 6 月 1 日～2016 年 10 月 31 日)

坂本登、今田忠、金芳外城雄、當間克雄、飛田敦子、菅祥明、NPO 法人婚活せわやき隊、東灘こどもカフェ、森田正純、尼川洋子、務川悦孝、林祐介、中村保佑、カタオカネットワーク、龍田昇、富田妙子、畑中進、大草美代子、岡部記代子、浜田宏樹、高橋度、井上雅晴、宮下隆二、子川幹男、林律子、黄田昭子、角田敏子、NPO 法人福祉ネットワーク西須磨だんらん、進藤啓子、小林るみ子、神田典治、藤浦剛、一般社団法人クレ、中山照彦、大西洋助、井上治子、木幡幸雄、江口聰、伊谷須美子、端信行、更谷令治、藤本傑士、宮崎太喜夫、長澤マリ、桑山信子、西村尚士、瀬戸口延恵、中島好美、酒井やよい、NPO 法人ふれあい福祉の会山びこへるぶ、泉勇策、弓削一、與口修、植戸貴子、井上隆文、有友ひとみ、岸千尋、伊東恭子、大和三重、一般社団法人みんないっしょ、蒲田尚史、藤本隆、医療法人明倫会 宮地病院、伊藤靖子、西池陽一、吉本隆光、福嶋正次

【寄付】

中村順子、飛田敦子、落合弘、於勢昌樹、石尾陽一、更谷令治、瀬戸口延恵、朴京守、定免久美子

2016 年度の会費継続をお願いします 市民活動を共に支えてくださる賛助会員（個人・団体）の方々を募集しております。

【会費】

個人会費：3,000 円／年

団体会費：10,000 円／年

【振込先】

名義：特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸

郵便振替 00950-2-144205



認定 NPO 法人 コミュニティ・サポートセンター神戸 (CS 神戸)

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町 5-2-2 ビュータワー住吉館 104

2016 年 11 月 25 日発行 通巻 80 号

TEL：078-841-0310／FAX：078-841-0312／E-MAIL：office@cskobe.com

発行人：中村順子 編集人：長井明子

編集後記 CS 神戸 20 周年を迎えて、各方面よりお祝いの言葉を頂いております。20 年の継続自体が感謝！皆さまのおかげです (N)